

だけじゃない B型

工賃だけじゃない。就労支援だけじゃない。
制度の枠だけじゃない。

就労継続支援B型事業所一つひとつの
「見えていない価値」を評価するための視点と支援のあり方

あなたの事業所は
何のために
存在しますか？

工賃が低いから、良くない事業所？

移行率が低いから、成果がない？

利用者が「明日も来たい」と思っていますか？

株式会社 日本生活介護

〒176-0001 東京都練馬区練馬1-20-2
TEL 03-3991-8440
Mail info@seikatukaigo.co.jp

就労継続支援B型の現状 —— 数字が示す構造的矛盾



41万人

全国B型利用者数

令和7年（国保連実績）

10年前から倍以上に増加



24,141円

全国平均工賃月額

令和5年 確定値

算定方式変更により増加



約11%

年間一般就労移行率

令和6年（社会福祉施設等調査より）

就労移行・A型に比べ横ばい

制度の設計と現場の実態のズレ

制度が評価すること

- 工賃の高さ
- 一般就労移行率
- 生産活動の収益性

VS

現場で起きていること

- ▶ 利用者の重度化・高齢化
- ▶ 生活支援ニーズの拡大
- ▶ 「居場所」としての役割



真摯に取り組んでいる
事業所ほど…

- ・報酬上、「評価されない」
- ・支援の特徴が伝わりづらい

こうした状況から、「だけじゃないB型」という視点での評価が必要！

「だけじゃないB型」が問いかけること

工賃・就労支援・制度の枠・数字…、それだけじゃない価値がある！



工賃「だけじゃない」

居場所・回復・つながりの価値

生活リズムの回復、社会とのつながり、自己肯定感の変化——金銭に換算されない価値が現場に確かに存在する。工賃の数字だけでは見えないものがある。



就労支援「だけじゃない」

生活支援・孤立防止・危機対応

居場所の提供、生活支援、孤立防止、危機対応——制度の建前を超えた多様な機能を現場は担っている。「働けていないこと」が支援の失敗ではない。



数字「だけじゃない」

小さな変化・長期的成長の価値

10年かけて初めて言葉を発した方、毎日来られるようになった方、家族が安心できるようになった方など、利用者の変化は数字に現れない形で支援の成果を示している。



障害福祉「だけじゃない」

社会的孤立・老い・働く意味

孤独・老い・働くことの意味——社会全体が直面する問いを、B型事業所はすでに10年前から実践の中で向き合ってきた。社会への問いかけでもある。

株式会社 日本生活介護 第三者評価のスタンス

私たちは「だけじゃないB型」の視点から、第三者評価を実践します。

01



三層評価のアプローチ 形式確認に止まらない

第一層：法令遵守・書類・体制の確認

第二層：支援の実態・職員の専門性・利用者
者の語り

第三層：「何のための事業所か」という
構造的問いへの考察

多くの評価が第一層で止まる。私たちは必ず第三層まで届けます。

02



言語化の伴走者として 評価者は「発見」の専門家

事業所が自分では気づけない強みを発見し、言葉にして手渡す。

工賃・移行率という数字に現れない支援の価値を、報告書・フィードバックを通じて可視化する。

評価は「できていないことを指摘する場」ではなく、「価値を発見する場」です。

03



制度の矛盾を知った上で 事業所と並走する立場

工賃向上優先の報酬体系の矛盾、重度障害者受け入れ事業所が不利になる構造、精神障害者の通所特性による不公平——これらを理解した上で評価に臨む。

他事業所の事例なども共有しながら、改善につながる方向性を探ります。